

浅井町ふれあいたより



9月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 令和元年9月1日
発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)
ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

家庭や地域と連携して

一宮市立浅井中学校 校長 山田 貞二

7月13日(土)公民館で「浅井町ふれあい盆踊り大会」が行われました。この大会のボランティアとして本校の生徒が、午前中の準備や夜店のお手伝いを行いました。当日は、小雨の降るあいにくの天気でしたが、生徒は生き生きとした表情でボランティア活動に取り組んでいま



ました。学校の授業や部活動で見せる表情とは、違った表情です。「地域のために」「みんなのために」という「for you」の思いがあふれ出た表情でした。その笑顔を見ている周囲の人たちも笑顔だったのが印象的でした。家と学校の往復が多い生徒たちですが、こうした機会に地域の方と触れ合いながら、人のために力を尽くすことの素晴らしさを体感します。学校と地域の関係は双方向でなくてはなりません。学校に来ていただくばかりでなく、学校からも地域にできることを積極的に行っていきます。

また、家庭との連携を強化するために、授業参観のうちに「ミニ講演会」を開催し、保護者の方と一緒に、子育てについて考える機会を持つようにしています。6月8日(土)の学校公開日には、大学教授で車いすダンスの普及に努めていらっしゃる寺田恭子先生をお招きして、子どもの可能性を伸ばすにはどうしたらよいかを一緒に考えました。参加者の皆さんからは「思

春期に入ってなかなかコミュニケーションがとれない」「何を考えているか分からなくなってきている」というような質問が出され、



障害のあるお子さんを育て上げた経験から多くのアドバイスをいただきました。地域と家庭、そして学校がつながるとともに一つになり、それぞれの教育力を高めていくことが、子どもたちの成長につながります。今後もこうした取組を行い、連携を強化していきたいと思ひます。

＜優勝おめでとう＞ 「第39回一宮市老人クラブ連合会ゲートボール大会」で浅井Bチームが優勝。また「夏季連区対抗グラウンド・ゴルフ大会」で浅井Aチームが優勝し、そして9月開催の「第74回茨城国体」公開競技であるグラウンド・ゴルフに浅井町から初めて山口婦美子さんが出場されます。ご健闘をお祈りします。

浅井町ふれあい盆踊り大会

7月13日(土)小雨が降る中、今年も浅井町ふれあい盆踊り大会が公民館駐車場で盛大に開催され、雨天にもかかわらず1200名もの多くの方に来ていただきました。夕方提灯に火が灯ると今年も一宮太鼓の力強い演奏から始まり荒汐部屋の力士も踊りの輪に加わって、ふれあい盆踊りという名前の通り和気あいあいと触れ合うお祭りでした。



成人講座が開講



7月18日(木)浅井公民館主催の「成人講座」が始まりました。

今年から講座の時間帯が午後7時から日中の午後3時に変更され、例年より多くの60名程の受講申し込みがありました。初日は開講式の後「脳トレ体操」でユーモアたっぷりの講師の指導で皆さんリラックス。今回を含め5回の講座と、最後の社会見学は「近江八幡堀めぐり」で、充実した講座になっています。

孫といっしょに社会見学

7月26日(金)小学校3・4年生とその祖父母18組が参加して社会福祉協議会浅井支会主催の「孫といっしょに社会見学」がおこなわれました。出張所を出発して最初は、地域文化広場のプラネタリウムで星座の説明を受け、次に岐阜県美濃市の美濃和紙の里会館で全員が紙すきを体験し、最後は岐阜県広域防災センターで、スモーク体験・消火器訓練そして震度7の地震を体験。行き帰りの車中では、クイズで楽しく友達の輪を広げ、祖父母と孫の絆を深めた一日でした。



鮎つかみどり

8月3日(土)浅井公民館家庭学習部主催の「鮎つかみどり」が公民館



駐輪場で開催されました。暑さに負けず、40名以上の子どもが保護者と一緒に参加し、水槽で元気に泳ぐ鮎を捕まえるのに熱狂。中には1分もたたないうちにつかまえて自慢げに両親に見せ合う子どもをスマホで撮影する姿も。今年は天候の影響が少し小ぶりの鮎が多いとのことですが、水槽から飛び出る程の威勢のよい鮎ばかり。今夜は多くの家庭で鮎の塩焼きが食卓に並ぶかも。

浅井町内盆踊り大会



宝生町「納涼祭」(7.27)



江森「盆踊り」(8.3)



河端「盆踊り」(8.3)



長田「納涼祭」(8.3)



河田「盆踊り」(8.3・4)



黒岩「祇園祭り」(8.3)